夕刊　四月二十六日發行
（日曜祭日翌日休刊）
磐城新聞社

病床日記

濱田隼雄

（一）

○月○日

昨日は、あんなにぽか／＼と晴れてゐたのに、朝から冷たい雨降り。大屯山も半分以上が雲にかくれてゐる。また雨がつゞくのだらう。だから臺北のはいやだ。晴れるとうす氣味の悪い程暖いくせに、曇ると腸の中まで冷えこんでしまふ。胃がしく／＼いたみ出すのは結婚話よりもやりきれない。

今朝の廻診は若い綺い人先生。

「肺浸潤なんて、何でもない。誰にでもあるんだが、氣がつかない内に治つてしまふんだから、まあ氣にしないことだね」

こないだと同じことを云つてる。いかにもあたしがく／＼悲觀してるみたいだ。さう云つてあたしを激勵するのがお役目みたいでもある。その上、自分が大學を出たばかりで若いのを馬鹿にされまいと、いやに重々しい口調を使つてゐる。看護婦たちに云はせると、あれで詩を作り、誰にでもやさしいんださうだが、人の氣持を忖度したり、氣取つたりするのが詩人なら、あたしも詩人になれさうだ。

あたしは肺浸潤。でも死にはしません。しあはせです。お店の羅紗の埃だらけの帳場に坐つて、帳簿に小さい數字をかいて暮してるより、うすよごれて、汚點だらけでも、白い壁に包まれて、ハイカラベツトの上にねころんでゐられるのです。藥の匂にも馴れました。內臺航路の三等船室の臭より、よほど衛生的です。××さんは入院すると極樂へ行つた氣になるさうですが、あたしもそんなにのんきです。慰めのお言葉よりも、すこしでも早く熱の下る藥を作つて下さい。詩人みたいなお顔をなさるより歌集でも持つて來て貸して下さい。

と云ひ度いところだけども、止めとかう。話せばわかる人よりも、話せばわからん人が多い世の中だ。それに自分の氣持なんて、人にわかつて貰はなくともいゝんだから。

熱は八度一分。相變らず變るのは天氣ばかり。

○月○日

雨だ。熱は上らないが胃の痛みやます。ごつそり胃散を飲む。

お店のKさんが見舞に來てくれる。雨の日に黒眼鏡をかけて、どうですか。など、人の顔もまともにみないでいやにかしこまつてゐる。

△足利尊氏歸順（元弘三）△高松城水攻（天正一〇）△エマーソン死す（一八八二）△支那事變第十回論功行賞發表（昭和一四）
4.3 27日

中支にて陣中詠

飯野村出身　伊藤弘道

○父上に物を送れと便りして　のちに悔ゆるは常のことなる
○ひたぶるに父は戀しも恐かしき　我儘なべて許し給ふか
○家に居て許されざりし我儘を　今は許すか大いなる父
○恐かしき親と子我のこのきづな　このきづなこそうれしかりけり

そのひとつ

○

成功の秘訣は目的の一定不變なるにあり

デスレリー

講談 夜嵐お絹（53）

悟道軒圓玉
篠井直衛 畫

腕が脱けた

酒井豊之助は櫻湯の主人から湯錢を催促されて、何んとか此の返報をしてやらうと其夜千住の處刑場へ來たが、上州無宿熊五郎と云ふ人殺しの首が晒してあ豊之助は此の刑場の裏手へ來て土饅頭を力で突き崩し棺を發いて首の無い死體を引き出し、左右の腕を切つてそれを手拭にくるんで懐中に入れ力の土を拂ひ鞘に收めて腰に帶び、それから吉原に來て仲の町から左に切れた京町二丁目相模屋と云ふ遊女屋の前に立ち見世を張つてゐる妓を見た、妓夫台に居た若い衆が、これは客になると出て來たが、

「今晩はお寒い事でございます、エヘ、、」

と笑つた、豊之助は若い衆を見て

「この二三日メツポウ冷わるナ」

「ヘエ、明日は雪でござんしよ」

「きさまは天文に通じて居るナ、雪になる事が判るかね」

「恐れ入ります、今晩お浮氣をして頂きたいもので、御覧の通り花魁衆はまだ本見世でございます」

と云つたが、本見世とは未だ客が無いと云ふ事ださうです、斯んな事は教科書にはない、

「コレ若い者、大分女が遊んでゐるナ無駄な事だ内職でもさせろ」

「これは恐入れました、何うぞこちらへ……」

と奥へ引込む、その時に立つて來た二十三四になる色の白いポチャ／＼と肥えた今で云へば肉感的な妓

「旦那、お上ンなさいよ、この寒い晩にひやかしてゐると風邪をひきますよ、ヨーお上ンなさいよ」

と云ひつゝ長羅宇の吸ひつけ煙草今ばこんな事はないそれは娼妓の陳列を禁じてあるため、明治の末に吸付け煙草は傳染病の患ひがあるから他のものにしろとの發しが出た、乃で煙草を廢しキャラメルにした、然しこれは失敗で！た朱羅宇の煙管で一吹お上ンなさいよと云ふから江戸氣分もあるそれをキャラメルを出して一ツお舐めなさいよなぞは色氣がない江戸時代の吉原は頗る賑つたものです然し今夜は空模様もわるく、寒さも強いから毎時ほどの人出が無い、茲の女は豊之助を生捕らうと媚を送

「ヨウ、お上ンなさいよ」

「きさまの名は」

「いやですよ、そんな事聞いて」

「イヤさうでない、一晩でも姿をするものだ、して見れば名前を覺えて置きたいナ」

斯う云ふと若い衆が

「田毎さんと申します」

「ウーム、田毎と云ふか、更科の月に縁があるナ」

と云ひつゝ懐中からソツと死人の腕を出してそれを離の、載せた、女はそんな事とは知らず、此の客を物にしようと、

「オ上ンなさいよ、」と云ひながら腕を押へて、

「大層冷たい事、温めてあげるからお上ンなさいよ」

確乎その手を押へた

「コレ／＼何をする、放せ／＼コレ強く引くと抜けるぞ」

「いやだよそんな事云つたつて、お上んなさいよ、此の手は放しませんよ」

「いゝわね／＼オ！抜ける／＼」

と云つたが豊之助は懐中へ左の手を入れて、それを押へてゐたが、パツトその手を放した、女は腕を持つたまゝでヨロ／＼とよろめき

「腕が抜けた」

と叫んだ、豊之助はアハハと笑ひ一散に中の町から大門を出たが相模屋は大騷ぎ田毎さんが客の腕を引き抜いたサア大變と早速訴へて出る、豊之助は屋敷へ戻り翌朝も一本の腕の手首を切り放してこれを手拭にくるんで柳湯へ出て來た、

「主人、借金を拂ふぞ、それで宜しからう」

二朱金を一つ番臺へ置いた二朱は一兩の八分の一、今で云へば十二錢五厘、其の當時の湯錢は十二文安いものでした、主人は二朱金を受取、火鉢の角へ打ち附けるとチーンといふ音がした

「有難うございます、此のお金は眞物でございます」

玉屋眼鏡店　平市二

實株は買ツテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
投資指針
◉目下投資時代
富岡株式店
平市四丁目三十三　電話一九一

田毎のみつまめ
白蜜と赤蜜
あんみつ
苺ミルク
田町　電632

毎度有難う御座います。
パン食普及の時代！
自慢の食パン　一斤二十錢
榮養パン　バターロール
甘コッペ　チヨコレートロール
野菜サラダパン　クリームロール
カレーパン・カツパン・黒パン
ベーカリー　東京堂
平市掻槌小路〔電話一〇八番〕

御婚禮着付
和洋結髪
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
〔徒弟入用〕

中等學校 制服……大特賣
高嶋屋の洋服
男女學生服 新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目　電話三八六番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

◇住宅地分讓◇
都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
「安全の土地」
支那事變前では、投資家の投資物も種々雑多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に在つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資額熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、產業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものでありと存ぜられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。
大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方〔電話七八七番〕へ御問合せ下さい

室内用竹レール 創始
高尚優美 無音低廉 防中防腐製品
國華竹レール
一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ
實用新案 第二一四二八八號 一九三六四七
京都府園部町 國華竹レール 第一工場
全綾部 全第二工場
全宮津町 全第三工場
東北六縣一手特約店
合資會社 KS 平銅鐵機械商會
代表者 井尻雅國
國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ契約
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

登録商標 家傳 ゆでくすり ムテキ
良薬 一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切傷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく、やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舗 宮城縣 ムテキ商會
平市古鍜冶町十番地（縣社下）
代理店 阿康藥局
電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

◇和文 歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇〇番 振替仙臺五一一
〔藤森事務用器商會〕

改正の直後丈けに 申告の方法が解らぬ
市郡下の勤勞所得税

今月一日から實施された改正所得税法中勤勞所得者（年收七百二十圓以上より基礎控除六百圓を差引きたる殘額に所謂源泉課税を受く）は俸給支拂ひの前日迄に之を申告する定めで實施直後の本年度分に限り官衙學校、市町村等の支拂ひ者に於て便宜上一時これを預かつて置き來年初頭税務署に取り纏める事に過般平税務署に於ける關係者との懇談會で打合せする處あつたが、創始早々の事とてその趣旨が徹底せず、税務署に殘り來るものが少くないのでその都度返付してゐるとの事であるが、免税點の引下げに因りその激増を豫想されてゐる新規納税者數は銀行等に第一回納入の際添付される內譯書によらでは判明せず、今の處一寸見當がつかぬとの事である

火の田島町に對する義捐會五十圓を醵出、今二十六日市役所を經て送つた

野崎蓮沼 兩氏出席

野崎、蓮沼正副市會議長は來月二、三兩日盛岡市公會堂で開かれる樺太北海道東北六縣市會議長會議に出席する

第一校遠足

平第一小學校では今二十六日午前八時校門出發左記へ遠足會を催した

尋1飯野村白土八幡 2夏井村專稱寺如來寺 3同大國魂神社 4同大越海岸 5豊間村沼の內辨天薄磯海岸 6同塩屋崎燈台豊間海岸 高1 2大野村玉山鑛泉

其他も用紙配付
市町村の手を經て 近く各納税義務者へ

勤勞所得に對する事務の取扱ひに就ては大体前記の樣な經路を踏み地方關係者間にも近く夫々遺憾無く訓練さるるものと觀られてゐるがそれ以外の分に對する申告書用紙も此程漸く其筋から配付され、目下各市町村役場を經て各納税者に送付中で、當該役場の說明及び用紙に記載された詳細な注意事項はあつても最初の事とてこれが申告には相當の疑義も生ずべく所轄平税務署ではこの點に就ても豫め考慮をめぐらして居る樣である

自治功勞吏員 町村長會で表彰

來月六、七兩日郡山市公會堂で開かれる本縣町村長會總會で表彰される地方自治功勞吏員左の如し

大浦村書記磯井伊助、大野村同荻貞造、夏井村同坂本登

舊城跡へ案內標
勿來と波立へも 縣觀光協會の新施設

縣觀光協會では觀光シーズンの到來と共に、縣下二十箇所の名勝舊蹟に立札式の案內標を建設する事になり近日中關係町村長に送附する事になつたが風雪のため字が讀めなくなつてゐる案內標をはじめ區々だつた標識が一定のものに說明まで添へて新らしく建てられるので觀光者に便する所は大なるものがあるべく地方關係は次の三ケ所である

△勿來關址（勿來）△平城址（平）△波立藥師（久の濱）

耕地事業豫定個所

二十四日縣で開かれた耕地協會總會で決定した地方に於ける本年度事業施行豫定並に施工地區助成組合左の如し

箕輪村大利表山耕地整理共同施行、同村井田木同、大野村玉山同、三坂村中三坂同、大野村山田小湊同

會津人會 大火見舞

渡部平署長、白井同次席、伊藤市助役外三十九名の石城會津人會員は大

軍艦迅鯨
艦內觀覽を許可 便乘は女川（宮城縣下）から 來月末小名濱港へ

既報、今年度艦上簡閱點呼のため軍艦『迅鯨』は來月三十一日小名濱港に來艦し例によつて同日午後一時から四時半まで一般に觀覽を許可、翌六月一日朝同港を出港宮城縣女川に向ふが今回はこの間の便乘は許れず六月五日朝八時女川を出港同日午後一時岩手縣釜石に至る間本縣下から五十名に限り便乘が出來る、その資格者は左の如くなほ小名濱入港中附近の軍事講演官並に活動寫眞班は公務に支障なき限り希望に應ずることになつてゐるから豫めこの旨艦長に申出られたいと

官公吏、縣會市町村會議員、軍人並に海軍家族、海軍々事功勞者、學校職員、學生生徒（小學生除外）海軍協會員、青年團小年團幹部、新聞記者

遺家族慰安 三曲演奏會 二十八日公會堂で

野寄久會主催應召軍人遺家族慰安三曲演奏會は來る二十八日正午から市公會堂に於て開催するがプログラムは次の如く多數參會を歡迎すると

一、六段 二、箏曲さくら 三、松上の鶴 四、三つの景色 五、蓬ヶ崎 六、箏曲かけつくら 七、晒 八、新高砂 九、臼の聲 一〇、箏曲チュン〱雀以下一九迄

時局を反映して 地方の武道熱旺ん
劍道昇段允許發表

地方に於ける最近の武道熱は時局を反映して頗る旺盛なるものあり、過般平署演武場で行はれた武德會の階級試驗に於ける受驗劍士の武者振りも一際目覺ましいものあつたが、當時の受驗者中三段以上の允許を得た少壯劍士として此程の武德會報に發表された氏名次の如し

（三段）爲山良雄、金成桂一、柏木侃一、立花久幸（以上磐中本年卒業生）伊藤孫七、大和田一雄、若松一郎、大間好雄、根本磐、四家利雄、渡部武、田子三郎、大和田一美（四段）赤津辰三、菊池敏彥、志賀義一、增尾孝介

一網に六名

小名濱町漁夫島田一郎（三六）原久義（三六）外四名は二十三日午前十一時頃同町古港藤社大一方漁夫合宿所で花賭博開張中平署に一網打盡

福中、磐中は郡商 平商は
中等野球組合せ決る

地方球界の墓あけとしてファンから待望されてゐる縣下選拔中等學校野球大會は二十八、九の兩日郡山市で開かれ、地元磐中、平商兩チームが轡を並べて出陣するがその組合せは

平商が第二試合に福中と磐中は第四試合で郡商と顏を合せる

若しこの第一回戰で勝てば平商は保中對安積の勝者と磐中は白中對若商の勝者と組むわけで榮ねの霸者たらんとする兩軍の意氣は素晴らしい

混雜を緩和すべく 出札口模樣替え
立枝驛長の名考案好評

最近の平驛は一般乘客の激增かゝり出札口の如き列車の都度膨しき混雜を來し縱列に順番を待つ乘客は牛步遲々、列の進むのをもどかしがるさま、まさに大停車場に於けるラッシュ光景を見せてゐるが、玆に鑑みた立枝驛長はその緩和策として從來利用しなかつた過剩窓口を開きこれ迄と反對に北端れより

1代金引換支拂口 2電報 3原の町仙台方面出札 4磐越線同 5上野方面出札（豫備） 6上野方面出札

に模樣ゞ替ねこの事務の繁閑を考慮したこの施設は少からず能率增進に資するものと觀られてゐるが中にも上り出札口として場合により二ケ所を使用することは最も機宜の措置であり一般から好評を博してゐる

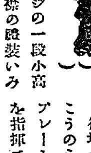
寄附

平税務署內石堂忠氏は金十圓を市銃後奉公會へ寄附した

一圓五十錢見當
燒津鰹の市內値だん 季節柄本格でない乍ら相當にはけてゐる

今年もはや皐月に近く市內四丁目の鮮魚街には見るも勇ましい松魚が紫紺の堅縞鮮かな梭形の魚体を見せ初めた旨既報の如く、今日あたりも引續き出廻つて新奇を好む味覺通を喜ばせてゐるが右は靜岡縣の燒津附近から廻つたもので値だんの一尾一圓五、六十錢はさまで高いわけでもなく、味は

艶界黑白



◇ステージの一段小高い處。白襟の盛裝いみじく三味線を斜にかまえ、スッツパの樣にあごをツンと出して◇『花のしいんかけ』とか何とか、犬の下の間延びた連中を向ふに金鈴を振る樣な美聲で放送するます美家の升美姐さん◇見たところ風にも得堪えぬ物ごしかつこうのうちにも、自身プレートに立つて三君を指揮する丈け何處か利かぬところがあると見ゆるも道理◇今でこそ三つ指のつき具合なんか押しも押されもせぬ典型的日本女性のしとやかさに入をしてホト〱感をづらせてゐるが◇あれで四倉の小學校時代には名うての女琢君で下級の男生などは遠くから道を避けたもんだし下手につかまつたりすると◇散々振り廻される迫害振りに一時は泣く子もだまつた！なんてまさか。それは兎に角陣取りでは常に二人前の働き手だつたそうな。

巷の挨拶

双葉屋負の市內南町飲食店塚本よし（四九）さんと羽黑ファンの內緣の夫市毛吉太郎さん（五三）の角力狂夫妻は一昨日仲睦まじく角力を見物し結びの一番にスッカリ血を湧かして歸つたが利き過ぎたアルコールの勢ひで勝負話しから犬も食はぬ場面を展開し四つに組んで大騷ぎを演じた末、この裁きを平署に持ち込んだ處行司役の丹治部長が兩名をコン〱諭した上引分けとして引取らせた

陣中を聽く
(752)

賑かな支那の市に
舊正の賣出しを懐ふ

飯野村出身 伊藤弘道君（信通）

二、

鋪道から吸ひさしを拾ふも嘘ではない。それがルンペンでもなく堂々の主人である。そして自分が喫ふとそれを子供に與へる、これが彼等の愛情である。尤もこんな愛情は日本にも子供に酒を吞まして醉つたのを見て喜ぶ親もある。だがこれは例外である。彼等はメンツ（面子）を尊ぶ國民であると云ふけれども、日本人に較べたら何んでもない。

支那では一寸した田舍町には大方隔日に賑かな市が開かれる。汚い支那家屋に狹められ歪んだ樣な石敷の道路にはごつた返す支那人のいきれと喚めきがあふれる。恰度平の二日市の盛觀で、彼等の籠と背中がつかえて步けぬ程になる。露台店がずらりと並ぶがさて格別珍らしいのもない。穀類、野菜、煙草、反物、裁縫道具、金物、耳飾りの樣な裝身具、魚類、辛子味噌みたいなもの、上げ物、牛の糞に似た菓子等々、我々にはほしいものとてもない。驚くのは魚だ。これはクリーク川から獲るのだけれど隨分大きなのがある。日本にも無い樣なのもある。まむしに似た肌を持つたらなきの樣なのもある。名前は判らぬが鯉ならば三尺以上のも珍らしくない。

私達が小學校の頃、春の遠足に、豊間村の賢沼辨財天で、あの神秘的な魚鮮に幼い驚きの眼をみはつたものだが、あれに劣らぬ鯉が笊の中に橫腹を朝の光に光らせてゐる樣は實際見事なものだ。彼等はそれを怪しげなインチキ秤ではかつて賣買してゐる。

そして市日の前日には、きまつて手か豚を屠殺する未だ彼等の鮮かな屠殺の手際を見たことは無いが、水牛の內臟をつかみ出してゐるのを見た。聞けば四つ脚を木に縛りつけアッと云ふ間に咽喉を突き刺し、どつと血を出してしまうそうだそしてその血も賣るらしく大桶に一杯湯氣を立ててゐた。

まだぴく〱と不氣味に痙攣する水牛の、まるで臼の樣な內臟を切り出してゐるところであつた。（完）

拈華微笑

四丁目の鮮魚街に初鰹。髮結新三のあの場面が想ひ出される

□

これを賞美する若菜頃の江戶の風物を巧みに描寫した河竹默阿彌の『梅雨小袖昔八丈』と今ときの映畫と含蓄何れぞ

□

味の溫度がそれだけ下りもすまいにキャンデーが二錢に騰つた

□

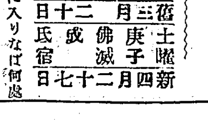
立花驛長の出札口模樣替へ。驛開設以來空前の一エポックだ

□

土が膨らんで青草が芽ばれた。愈よ外套を藏つても大丈夫らしい

二十七日
【小名濱測候所觀測】

滿潮 前九、〇五 後六、三〇
干潮 前〇、五五 後一、四五



舊三月二十日 土曜 庚子 佛滅 成 氏宿
新四月二十七日

▲一白 正しき道に入りなば何處までも通みてよろし▲二黑 移り氣と口をつゝしみて奮闘すれば大吉と成る▲三碧 小事には差支なきも大事は後日に廻すが吉▲四綠 輕々しく乘り氣になれば存外の破敗が來る▲五黃 區々たる小節を捨て高處より大觀して進め▲六白 積日苦心のかう果現るゝ日但し和合大切の事▲七赤 かひなき外事に辛勞するより內を整が利得▲八白 待ちに待たる花の開く日名弘開店何れも吉▲九紫 運氣あがらず爲す事多く行違を生ずる注意日

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晚 南の風曇時々晴
明日 同

平市慶弔錄

△出生 四ツ波字稗田六二小野克美氏長男豊一君
○婚姻 才槌小路三〇石井正一郎氏（二七）と田人村旅人字横川一四菅家スミさん（三）

北大營懷古
珠雲 小野務平

奉天城外耐回思
衆庶優游王化滋
將士幾千流血跡
霜林今日錦緋披

二十四日 下見即賣 自午前九時至午後九時
二十五日
二十六日 競賣 自正十二時至午後十時

新古 書畫大賣立會
會場 平市公會堂
主催 新興美術社
東京市下谷區金杉二丁目八
眞筆保證附、價格表示、出品豊富

菓子職人 各一名雇入れ度し
カラッ燒き 女工さん
年齡を問はず御希望の方至急御來談下さい。
平市田町六八 カシワヤ

故障の起らぬ 原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

眼科專門 眼鏡檢定
重田眼科
平驛前 重田醫院

アイロンの底から蒸氣が吹き出る
＝電氣アイロンの時代は去る＝
實用新案 硬質陶器製
輕便スチームアイロン
特にステープル物には絕對的で其他一般織物には効果優秀なる事保証致します
本器の最大特長
一、キリを吹きかけなくとも自動的に蒸氣が出ます
一、アイロンは輕く肩は凝らず然もキヽメ萬點です
一、家庭の火鉢で簡單に蒸氣が出ます
一、如何なる織物も蒸氣アイロンに優るものは有りません
自動蒸氣發生裝置 定價 金貳圓八拾錢
販賣店 濱三郡配給所 とらや旅館
平市田町三番地 電話六四八番
販賣店 平驛前 村山書店

自轉車とリヤカーハ
平市才槌小路十二
矢野輪業商會
電話七三〇番
振替口座東京二二七〇七番
ユアサランプ電池、配給所